

基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.109 更新記録

2012/04/03

有限会社ジオ・コーチ・システムズ

<http://www.geocoach.co.jp/>

info@geocoach.co.jp

1. シェープファイルへ変換

メニュー[基盤地図情報]-[シェープファイルへ変換]で、保存するシェープファイルにフィールド「id」を追加しました。

保存するシェープファイルにフィールド「id」を付加します。XML ファイルの地物の属性「id」の文字列(例「A12345」)をセットします。フィールド「id」の型は文字列で、フィールド長はセットする文字列の最大長をセットします。

「FGDCDB2SHP.csv」での定義は不要です。

2. XMLファイルへ変換、XMLファイルへ変換 2

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換]、[XML ファイルへ変換 2]で、元のシェープファイルにフィールド「id」があり、文字列が空白でない場合は、XML の属性「id」にその文字列をセットするようにしました。

元のシェープファイルにフィールド「id」がない場合、あるいはあっても空白の場合は、従来通り、「A*」をセットします。*の部分は「地物 ID」の最後の数値です。